
陰陽師はじめました

ライトハウス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

陰陽師はじめました

【Nコード】

N9305Z

【作者名】

ライトハウス

【あらすじ】

ごく普通の中学校に通う
進藤優斗は母の仏壇においてある
一枚の紙を見つけた日を境に
陰陽師としての生活が始まる…
得体のしれない妖と戦っていく毎日に変わる
果たしてなぜ優斗はこの世界につれて来られたのか…
非現実的ストーリーである

第一話 進藤優斗

「ただいま、っても誰もいねえか」

俺の名前は進藤優斗地元の中学校に通うごく普通の中学二年生だ。

俺は小6ころに母親を亡くしていて

今は父親との2人暮らしだ。と言っても

父親はほとんど家にはいなく

お金が置いてある。これでいつも夜ご飯をすましている。

昔は家に帰ればいつも母さんが料理を

作って待ってくれていた、母さんの料理は

どれも美味しく毎日が楽しみだった。

だけど今は：

とりあえず腹が減ったので

冷蔵庫を開けてみた、予想通りあるのは

牛乳、ビール、昨日コンビニで買った

食いかけの焼きそばしかなかった。

仕方なく今あるもので我慢した。

「いつからこんな生活になってしまったんだろうな」とつぶやいて
いると

自然と母さんの仏壇の前に足を進めていた。

母さんの写真を手にとり眺めていた。

「母さん…」写真を元の場所に戻そうとするとそこには紅蓮色に染
まっている

一つの紙が置いてあった。

今まで写真の裏にあり気づかなかったんだろうと思いその紙を手
にした瞬間、頭に強烈な痛みが走り俺はその場に倒れた。

気が付くとそこは見渡す限りの広い
草原だった。

「ここは何処だ…」と言ったその時

「ウウウグガア」と何かの唸り声が聞こえる

振り向くとそこにはこの世のものとは

とても思えないいびつな形をした

生物がいるではないか。

テストの平均点が24点の俺でも一目で危険だと分かるほどのオーラだ。

「こいつは何だ…」俺は一目散に逃げた

だかその生物は想像以上に素早い。

「ダメだ、追いつかれる」どんどん距離が

近づいていく、死を覚悟したその瞬間

俺の手が赤く光り出す。

「何だこれは…」俺の手の中にはさっき仏壇の中で見つけた紅蓮色の紙がある。

化け物が近づくにつれて光りはどんどん強くなる、そして俺と化け物の距離が

一メートルほどになった時光りは

化け物を示しそして化け物は一瞬で燃え尽きた…

「何だこの紙は、そしてここは何処だあ？」

謎の少女「あいつ妖を倒しやがった…いったい何ものなんだ…それに陰陽師の札も

持っていやがるし、面白いやつだ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9305z/>

陰陽師ははじめました

2011年12月29日01時49分発行